

2006年6月20日

関係各位

オリックス証券株式会社

「逆指値」注文の取扱い開始について

オリックス証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：北山久行）のインターネット取引サービス『オリックスオンライン』では、2006年8月中旬より、国内株式を対象に、新しい発注機能である「逆指値」のサービスを開始いたしますので、お知らせします。

現在、個人投資家のインターネット取引利用率は8割近くにのぼると言われ、オリックス証券では、取引頻度の高いお客様から、リスク管理上損失を限定するためなどに「逆指値」注文を利用したいとの声を多くいただいております。今回のサービス開始は、このようなお客様のご要望にお応えするものです。

オリックス証券では、今後も投資家の皆さまの視点に立ったサービスの拡充に努めてまいります。

逆指値注文とは・・・

株価があらかじめ設定した価格を上回った（または下回った）時点で初めて執行される注文です。

「逆指値」注文利用例・・・

保有する銘柄の現在価格が1,000円の時、現在価格から100円以上下落した際に、それ以上の値下がりリスクを回避したい場合は、900円という条件で逆指値の成行売り注文を入力します。

⇒株価が900円となった際に、自動で成行注文が執行され、900円前後（成行注文の場合は、注文執行後の値動きにより約定価格が変動することがあります）で約定となり、その後の株価の値下りリスクを回避することができます。